

日本における 外国人労働者の受け入れ

モノ・カネにとどまらない世界的な自由化の潮流。それは日本にとって成長の好機であると同時に、新たな課題を投げかける試練でもある。いかに対処すべきか。近年の日本の取り組みを紹介する。

本誌編集部

着々と進む経済のグローバル化、それに伴うヒトやモノの活発な移動に対して、日本経済も市場の開放・産業構造の転換など、さまざまな影響を受け、また対応策を展開してきた。そのなかで大きなテーマの一つとなっているのが、高度人材に対する労働市場の開放である。海外から優れた人材を獲得することは、グローバル化への対応という観点だけでなく、日本が直面する少子高齢化による労働人口の減少という問題への対応の観点からも重要である。

高度人材の受け入れ―大学国際化とポイント制導入

現在、日本政府は経済産業政策の包括的な見直しを進めており、二〇二〇年六月の「新成長戦略（以下、戦略）」では、経済成長の方策をグローバル化への適応に求める指針を大きく打ち出している。「戦略」では労働市場における対応として、海外人材の日本における集積の拡大、在留高度外国人材の倍増を掲げている。

このために打ち出している施策の一つが、大学の国際化支援だ。「戦略」では具体的な国際化支援の方法として、外国の大学との単位相互認定の拡大や、外国人教職員・外国入学生の戦略的受け入れ促進、外国入学生の日系企業への就職支援など、さまざまな政策を掲げている。日本で学ぶ外国入学生を増やすこと、さらに彼らが日本で就職し、長期定住することまでを視野に入れた包括的な政策である。

外国人が学生として留学している時代から外国人材の獲得を狙った二つ目の施策に対して、「戦略」で第二に掲げられている施策が、欧米やアジアの一部で導入されている「ポイント制」の導入である。これは職歴や実績等で優れた外国人に対して、その経験や能力に応じてポイントを加算し、出入国管理制度上の優遇措置を行う制度である。

これらの施策のターゲットは、高度人材としての外国人労働者であ

り、高度人材の層を厚くし、その力を借りて日本経済を成長させようとする政策といえる。「戦略」で掲げられた大目標に対して、ポイント制を実際にどのように運用していくのか、また、優遇措置の内容をどのように設定するかなどについては、現在も議論が行われている。

看護師・介護福祉士候補者の受け入れ

また、上記のようなアプローチとは別に、二〇〇六～〇七年に相次いで調印されたフィリピン・インドネシアとの経済連携協定（EPA）では、両国からの看護師・介護福祉士候補者の受け入れに関する要望に基づき、二国間のEPAを通じた特例的な人材の受け入れも進められている。〇八年からインドネシア、〇九年にはフィリピンからの候補者受け入れが始まった。しかし、日本語という言葉の壁、外国人を受け入れることに伴う日本側のさまざまな負担やトラブル、日本語で行われる国家試験の難易度の高さ、求人数の減少など、多くの課題が存在することが判明した。

これらを重要課題と位置付けた日本政府は、閣僚・副大臣級で「人の移動に関する検討グループ」を組織し、本年六月に、「経済連携協定（EPA）に基づく看護師・介護福祉士候補者の受け入れ等についての基本的な方針」が策定された。具体的な取り組みとしては、（一）訪日前の日本語研修、（二）訪日後の国家試験対策支援強化、（三）現地看護大学でのプロモーションを兼ねた、日本看護・介護教育や日本

語教育の検討、（四）帰国した人材への支援（現地日系企業とのマッチングによる就職支援など）などが掲げられている。

また、インドネシア・フィリピンだけでなく本年一〇月には野田首相とベトナムのグエン・タン・ズン首相との会談で、ベトナムからも看護師・介護福祉士候補者の受け入れを行うことを確認し、来年の早い時期に日本語研修を開始することを目指すことになった。

日系定住外国人への対応

一九九〇年の出入国管理及び難民認定法の改正施行により、「定住者」の在留資格が創設され、日系人については三世まで日本での就労に制限のない滞在が認められたことから、日本に住む日系人口は九〇年代以後増加し、二〇〇八年時点でブラジル人は三二万人（一九八八年時点で四〇〇〇人）、ペルー人は六万人（同八六〇人）へと大幅に増加し、多くの地域でコミュニティを形成している。しかし彼らの多くは日本での定住を希望しているものの、製造業等での単純労働に従事するものが多く、近年の景気低迷の影響を受け失業者が増大している。また日本語能力が不十分であることが、彼らの再就職や地域社会への融合を難しくしていることも多い。彼らを日本社会の一員として受け入れるべく、内閣府内に「定住外国人施策推進室」を設置、二〇一〇年八月に基本指針、二〇一一年三月に行動の計画を策定するなど対応が進められている。■